

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	しもすわサマーイルミネーション2016「諏訪湖の夏夜のきらめき」
事業主体(連絡先)	下諏訪町
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり、①地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,000,000円(うち支援金:2,750,000円)

事業内容

町では、諏訪湖の花火と連携した新たな夏の風物詩とするべく、夏季のイルミネーションを平成27年より開催し、地域の活性化を図っている。

今年度は地域の人々と協働でイベントをつくりあげるため、町内の企業、学校、旅館組合、商工会議所、観光協会等が参加するプロジェクトチームを立ち上げ、会場デザインや協働作業内容を協議した。協議の結果に基づき、学生とのイルミネーション作品の協働製作や、企業からの展示作品の提供、宿泊施設でのイベントPR等、プロジェクト参加団体と連携したイベントづくりを推進した。

約1ヶ月間の点灯期間中には、諏訪湖の花火と連携したナイトクルージングを企画し、地域住民だけでなく観光客なども含め多くの人々に来場していただいた。

【イルミネーション】

- ・点灯期間：42日間(7月25日～9月4日)
- ・来場者数：100人/日(来場者が多い日の目測)

【ナイトクルージング】

- ・開催期間：6日間(7月30日～8月14日の間の土日)
- ・利用状況：延べ246人(平均41人/日)

(開催風景および活動写真)



【目標・ねらい】

- ①町民全体を巻き込み協働でイベントをつくりあげるにより、新たな夏の賑わいを創出し地域活性化を図る。
- ②整備が進む赤砂崎公園の周知広報。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①学生、企業等と連携して展示品を用意したことや、広くPRをしたことで、新たなイベントとして一定の認知を受けたと考えられ、多くの人々が訪れる賑わいの創出ができた。

【作品協働製作参加者】中学生15名、教師4名、町職員8名

【展示品提供企業】 2社

- ①プロジェクトチームを立ち上げ、企画段階から協働でイベントづくりを推進したことで、今後の事業推進体制の基礎作りができた。

【プロジェクトチームメンバー】21名

- ②多くの人々が来場したことにより、普段公園を訪れないような人にも足を運んでもらうきっかけとなり、公園の認知度向上につながった。

※自己評価【B】

【理由】

プロジェクトチームの立ち上げや、各団体との連携を実現させイベントを開催することができたが、参加団体がまだ少なく、目標達成のためには、さらに多くの人々が参加・協力することが必要。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年で2回目の開催となった本イベントを、今後も継続して実施し、地域の活性化につなげるためには、一部の学生や企業、団体だけでなく、より多くの地域の人々が参加・協力する体制をつくり、行政主導ではなく参加者(地域住民や団体等)が主導して推進する事業としたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある